

歴史的景観保全活用事業

令和5年度事業実績

横浜市都市整備局都市デザイン室

<事業の概況>

1 歴史的建造物の保全活用

- (1) 歴史的建造物の登録
- (2) 歴史的建造物の認定
- (3) 歴史的建造物の保全契約
- (4) 特定景観形成歴史的建造物の指定
- (5) 歴史的建造物の保全改修等に対する助成

2 「歴史を生かしたまちづくり」に関する普及啓発

- (1) 歴史を生かしたまちづくりセミナー
- (2) サイン等の整備

3 その他

- (1) 歴史的景観保全委員
- (2) 関連団体等
- (3) 歴史を生かしたまちづくり相談室の運営
- (4) ふるさと納税「歴史的景観保全活用事業」の運用
- (5) 歴史的建造物台帳登録調査
- (6) 文化財保存活用地域計画の策定検討

<資料>

- ・ 横浜市認定歴史的建造物一覧表
- ・ 横浜市認定解除歴史的建造物一覧表
- ・ 横浜市登録歴史的建造物保全契約一覧表
- ・ 横浜市特定景観形成歴史的建造物一覧表
- ・ 第16期 横浜市歴史的景観保全委員名簿
- ・ 歴史を生かしたまちづくりセミナー開催実績
- ・ 歴史的景観保全事業 事業費の推移
- ・ ふるさと納税「歴史的景観保全活用事業」寄附額の推移

<事業の概況>

横浜には、都心臨海部を中心に、開港以来の近代建築や西洋館、土木産業遺構が残されており、郊外部には、農村の風情を伝える古民家や社寺が残されています。これらの歴史的資産を高く評価し、まちづくりの重要な資源として位置付け、保全活用を積極的に行うことで歴史を生かしたまちづくりを展開しています。この思想のもと、昭和63年度に横浜市独自の要綱である「歴史を生かしたまちづくり要綱」を施行し、以降、その趣旨に基づき取組を進めています。

同要綱では、景観的に価値の高い歴史的建造物を「登録」し、そのうち、特に重要なもので、将来の保全活用計画について所有者の同意が得られたものを「認定」することが可能となっています。この制度は、歴史的景観の保全を目的としており、外観を保全する代わりに、内部は歴史的建造物の魅力をいかしつつ使いやすいうように改修することができ、凍結的な保存より、現役で長く使い続けてもらうことを狙いとしています。

令和5年度には、山手地区の西洋館である「山手237番館」「山手267番館（Bielous邸）」「山手69-6番館」と港北区綱島の古民家である「池谷家住宅主屋」を新たに認定し、令和6年3月末時点で「登録」は212件、そのうち「認定」は104件となりました。

歴史的建造物に認定されると、外観保全、耐震改修や維持管理の費用等が助成の対象となります。令和5年度は旧英国七番館の外観保全・耐震改修工事や、山手資料館・山手133版ブラフ積み擁壁の外観保全工事に要する費用の一部を助成した他、27件の歴史的建造物の維持管理行為に対して助成しました。

1 歴史的建造物の保全活用

(1) 歴史的建造物の登録

景観上価値がある歴史的建造物について、歴史を生かしたまちづくり要綱第4条に基づき登録しています。令和5年度には3件の歴史的建造物を登録し、計212件となりました。

[登録歴史的建造物総括表]

種 別	令和4年度	令和5年度	合 計
社 寺	23件		23件
古 民 家	29件	+1	30件
近代建築（除：西洋館）	54件		54件
西 洋 館	39件	+1	40件
近代和風建築	6件		6件
土木産業遺構	57件	+1	58件
近現代建築物	1件		1件
合 計	209件	+3	212件

(2) 歴史的建造物の認定

登録歴史的建造物のうち特に重要な価値を有する歴史的建造物について、歴史を生かしたまちづくり要綱第10条に基づき認定しています。

令和5年度は、「山手237番館」「池谷家住宅主屋」「山手69-6番館」「山手267番館（Bielous邸）」を新たに認定し、合計件数は104件となりました。

[認定歴史的建造物総括表]

種 別	令和4年度	令和5年度	合 計
社 寺	0件		0件
古 民 家	14件	+1	15件
近代建築（除：西洋館）	32件		32件
西 洋 館	23件	+3	26件
近代和風建築	2件		2件
土木産業遺構	29件		29件
近現代建築物	0件		0件
合 計	100件	+4	104件

(3) 歴史的建造物の保全契約

歴史を生かしたまちづくり要綱（第9条）に基づき歴史的建造物の保全活用について所有者と保全契約を締結しています。

令和5年度末までに3件（「横浜海洋会館」「ジャパンエクスプレスビル」「横浜貿易会館」）の保全契約を締結しています。なお、令和5年度に新たに保全契約を締結した歴史的建造物はありませんでした。

(4) 特定景観形成歴史的建造物

「横浜市魅力ある都市景観の創造に関する条例」（第14条の2）に基づき特定景観形成歴史的建造物の指定を行いません。特定景観形成歴史的建造物に指定されると建築審査会の同意を得て建築基準法の適用除外とすることが可能となります（建築基準法第3条第1項第3号）。

令和5年度末までに2件（「旧円通寺客殿（旧木村家住宅主屋）」「旧藤本家住宅主屋及び東屋」）を指定しています。なお、令和5年度に新規に指定した歴史的建造物はありませんでした。

(5) 歴史的建造物に対する助成

歴史を生かしたまちづくり要綱（第21条）に基づき歴史的建造物の保全活用に関する改修、維持管理等に対して助成を行いません。

令和5年度は、外観保全及び耐震改修工事3件、維持管理27件に対する助成を行いました。

<令和5年度 工事助成対象事業>

- ・ 旧英国七番館（戸田平和記念館）： 外観保全工事、耐震改修工事
- ・ 山手資料館：外観保全工事
- ・ 山手133番ブラフ積み擁壁：外観保全工事

2 「歴史を生かしたまちづくり」に関する普及啓発

(1) 歴史を生かしたまちづくりセミナーの開催

令和3年度は横浜市の組織に都市デザイン担当が発足して50周年を迎えたことから、これを記念し複数の事業を企画・実施してきました。

<開催実績>

名称：第45回歴史を生かしたまちづくりセミナー ～戦後建築はみんなの宝～
日時：令和5年12月9日（土）
場所：横浜みなと博物館（日本丸訓練センター）第1・2会議室
参加人数：60名

【第1部 基調講演・シンポジウム】

基調講演 ※オンライン講演

「戦後建築の魅力」松隈 洋 氏（神奈川大学教授）

シンポジウム

パネリスト：村島 正章氏（一般社団法人神奈川県建築士会常任理事）
笠井 三義氏（有限会社カサイアーキテクチュラルデザイン代表）
中井 邦夫氏（神奈川大学教授）

コーディネーター：後藤 治 氏（工学院大学理事長）

【第2部 見学会】

ガイド：笠井 三義氏（有限会社カサイアーキテクチュラルデザイン代表）

(2) サイン等の整備

歴史的建造物の周知・普及のため、認定歴史的建造物の表示や、街路での歴史的建造物案内サインの整備等を行なっています。

令和5年度はふるさと納税を充当し杉沢堰、山手133番ブラフ積擁壁の認定プレートの製作を行いました。

3 その他

(1) 歴史的景観保全委員

歴史を生かしたまちづくり要綱（第 22 条）に基づき、専門家の意見を取り入れ、歴史的景観の保全と活用を図るため歴史的景観保全委員を置いています。

令和 5 年度は令和 4 年度より継続して 13 名の委員を置き、連絡調整会議を 2 回開催し歴史を生かしたまちづくりに関する意見の聴取を行ないました。また、個別の歴史的建造物の保全活用についても各担当委員から意見聴取を行いました。

(2) 関連団体等

公益社団法人横浜歴史資産調査会と「歴史を生かしたまちづくり事業」に関する実施協定を締結し歴史を生かしたまちづくりに関する取組を推進しています。

また、歴史的景観都市連絡協議会に加盟し情報交換等を行なっています。

(3) 歴史を生かしたまちづくり相談室の運営

歴史的建造物所有者支援の一環として公益社団法人横浜歴史資産調査会と連携し「歴史を生かしたまちづくり相談室」を運営しています。

令和 5 年度は 2 件の新規相談を受けました。また、過年度からの複数の相談案件について継続して相談を受けています。

<歴史を生かしたまちづくり相談室概要>

連絡先 : 公益社団法人横浜歴史資産調査会（ヨコハマヘリテイジ）内
「歴史を生かしたまちづくり相談室」係

電話 : 045-651-1730

※毎週水曜日 午前 10 時から午後 3 時まで（年末・年始・祝日を除く）

F A X : 045-651-1730（随時）

E メール : yh-info@yokohama-heritage.or.jp（随時）

郵送 : 〒231-0012 横浜市中区相生町 3-61 泰生ビル 405 号室（随時）

(4) ふるさと納税「歴史的景観保全活用事業」の運用

平成 28 年度からふるさと納税の支援メニューの中に「歴史的景観保全活用事業」支援を追加しています。当該制度を通じた支援は、まちなかの歴史的建造物を紹介する「サイン・説明板」の製作・設置、景観上重要な歴史的建造物を使い続けまちづくりの中で活用していくための「リノベーションに対する助成金」を用途としています。

<ふるさと納税実績（令和 5 年度）>

金額 : 5,842,720 円

件数 : 168 件（個人 167 件、団体 1 件）

(5) 歴史的建造物台帳登録調査

昭和 63 年度から、市内の歴史的、建造物的、景観的価値の高い建造物について台帳を整理し、登録調査を継続しています。最新の調査は令和 2 年度に実施しています。

(6) 横浜市歴史的風致維持向上計画（仮称）の策定検討

「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律(平成 20 年法律第 40 号)」に基づき、令和 7 年 3 月の認定を目指し「横浜市歴史的風致維持向上計画」の策定検討を行っており、三省庁及び協議会、歴史的建造物所有者、地域団体ほか関係者と協議を進めています。令和 5 年度は 2 回の協議会を実施し、横浜市会（令和 6 年第 1 回市会定例会）において報告を行いました。

(7) 横浜市文化財保存活用地域計画（仮称）の策定検討

横浜市の文化財の保存・活用に関する現状や課題を整理するとともに、保存・活用の基本的な方向性や取組を可視化し、多様な主体が連携して地域社会が一体となって文化財の保存・活用の取組を計画的、継続的に推進するため、文化財保護法に基づく「横浜市文化財保存活用地域計画」の策定検討を行っています。令和 5 年度は教育委員会、にぎわいスポーツ文化局と連携し作成検討を進め、令和 5 年 12 月 22 日から令和 6 年 1 月 26 日にかけて市民意見募集を実施し、66 通、139 件のご意見をいただきました。

横浜市認定歴史的建造物一覧表

令和 6 年 3 月末
現在 104 件

	名 称	種 別	所在地	認定時期
1	損保ジャパン日本興亜横浜馬車道ビル	近代建築	中区	昭和 63(1988)年度
2	横浜指路教会	近代建築	中区	
3	カトリック山手教会聖堂	近代建築	中区	
4	旧横浜船渠第 2 号ドック	土木産業遺構	西区	平成元(1989)年度
5	横浜海岸教会	近代建築	中区	
6	横浜山手聖公会	近代建築	中区	
7	岩田健夫邸	西洋館	中区	
8	横浜第 2 合同庁舎(旧生糸検査所)	近代建築	中区	平成 2 (1990)年度
9	旧澤野家長屋門	古民家	鶴見区	
10	石橋邸	西洋館	中区	平成 3 (1991)年度
11	旧藤本家住宅主屋及び東屋	古民家	鶴見区	
12	関東学院中学校	近代建築	南区	
13	ホテルニューグランド本館	近代建築	中区	平成 4 (1992)年度
14	綜通横浜ビル (旧本町旭ビル)	近代建築	中区	平成 5 (1993)年度
15	旧東伏見邦英伯爵別邸	近代建築	磯子区	
16	松原邸	西洋館	中区	平成 6 (1994)年度
17	宇田川邸	西洋館	中区	
18	B E A T T Y 邸 (ビーティ邸)	西洋館	中区	
19	エリスマン邸	西洋館	中区	
20	ブラフ 18 番館	西洋館	中区	
21	中澤高枝邸	西洋館	港北区	
22	カトリック横浜司教館別館	西洋館	中区	
23	カトリック横浜司教館 (旧相馬永胤邸)	西洋館	中区	平成 7 (1995)年度
24	旧安西家住宅主屋	古民家	瀬谷区	
25	旧大岡家長屋門	古民家	瀬谷区	
26	旧金子家住宅主屋	古民家	戸塚区	
27	旧円通寺客殿 (旧木村家住宅主屋)	古民家	金沢区	平成 8 (1996)年度
28	新川家住宅主屋	古民家	旭区	
29	旧臨港線護岸	土木産業遺構	中区	
30	港一号橋梁	土木産業遺構	西区	
31	港二号橋梁	土木産業遺構	中区	
32	港三号橋梁 (旧大岡川橋梁)	土木産業遺構	中区	
33	長浜ホール (横浜検疫所長浜措置場旧細菌検査室、横浜検疫所長浜措置場旧事務棟)	近代建築	金沢区	平成 9 (1997)年度
34	旧清水製糸場本館 (天王森泉館)	古民家	泉区	

	名 称	種 別	所在地	認定時期
35	横浜情報文化センター（旧横浜商工奨励館）	近代建築	中区	平成 10(1998)年度
36	岡田邸	西洋館	中区	
37	横浜地方・簡易裁判所（旧横浜地方裁判所）	近代建築	中区	
38	山手資料館	西洋館	中区	平成 11(1999)年度
39	山手 234 番館	西洋館	中区	
40	せせらぎ公園古民家（旧内野家住宅主屋）	古民家	都筑区	平成 12(2000)年度
41	東隧道	土木産業遺構	保土ヶ谷区	
42	大原隧道	土木産業遺構	南区	
43	浦舟水道橋	土木産業遺構	南区	
44	馬車道大津ビル（旧東京海上火災保険ビル）	近代建築	中区	
45	旧横浜市外電話局	近代建築	中区	
46	横浜税関	近代建築	中区	
47	旧英国七番館（戸田平和記念館）	近代建築	中区	
48	ベーリック・ホール	西洋館	中区	平成 13(2001)年度
49	山手 76 番館	西洋館	中区	
50	中丸家長屋門	古民家	泉区	
51	響橋	土木産業遺構	鶴見区	
52	昇龍橋	土木産業遺構	栄区	
53	山手随道	土木産業遺構	中区	
54	赤レンガ倉庫	近代建築	中区	
55	日産自動車株式会社横浜工場 1 号館（旧本社ビル）	近代建築	神奈川区	平成 14(2002)年度
56	旧奥津家長屋門並びに土蔵	古民家	緑区	
57	新港橋梁	土木産業遺構	中区	
58	旧東京三菱銀行横浜中央支店	近代建築	中区	平成 15(2003)年度
59	旧富士銀行横浜支店（元安田銀行横浜支店）	近代建築	中区	
60	旧横浜銀行本店別館（元第一銀行横浜支店）	近代建築	中区	
61	伊東医院	近代建築	戸塚区	
62	旧ウィトリッヒ邸	西洋館	戸塚区	
63	旧居留地消防隊地下貯水槽	土木産業遺構	中区	
64	打越橋	土木産業遺構	中区	
65	旧横浜松坂屋西館	近代建築	中区	平成 16(2004)年度
66	桜道橋	土木産業遺構	中区	
67	霞橋	土木産業遺構	西区・南区	
68	インド水塔	近代建築	中区	平成 17(2005)年度
69	谷戸橋	土木産業遺構	中区	
70	西之橋	土木産業遺構	中区	

	名 称	種 別	所在地	認定時期
71	旧バーナード邸	西洋館	中区	平成 18(2006)年度
72	山手 89-8 番館	西洋館	中区	
73	旧平沼専蔵別邸亀甲積擁壁及び煉瓦塀	土木産業遺構	西区	
74	二代目横浜駅基礎等遺構（第二代横浜駅駅舎基礎遺構および横浜共同電燈会社裏高島発電所遺構）	土木産業遺構	西区	
75	フェリス女学院 10 号館（旧ライジングサン石油会社社宅）	近代建築	中区	平成 19(2007)年度
76	ストロングビル	近代建築	中区	
77	旧灯台寮護岸	土木産業遺構	中区	平成 20(2008)年度
78	横浜税関遺構 鉄軌道及び転車台	土木産業遺構	中区	平成 21(2009)年度
79	インペリアルビル	近代建築	中区	平成 22(2010)年度
80	慶應義塾大学（日吉）寄宿舍（南寮及び浴場棟）	近代建築	港北区	平成 23(2011)年度
81	井伊直弼像台座及び水泉	土木産業遺構	西区	
82	フェリス女学院 6 号館別館	西洋館	中区	平成 24(2012)年度
83	河合邸	西洋館	中区	
84	旧神奈川県産業組合館	近代建築	中区	
85	旧神奈川労働基準局（元日本綿花横浜支店倉庫）	近代建築	中区	平成 25(2013)年度
86	山手 26 番館	西洋館	中区	
87	霞橋（旧江ヶ崎跨線橋）	土木産業遺構	中区	
88	旧横浜生糸検査所附属生糸絹物専用 B 号倉庫及び C 号倉庫	近代建築	中区	
89	鈴木家長屋門	古民家	旭区	平成 26(2014)年度
90	田邊家住宅（日吉の森庭園美術館）	古民家	港北区	平成 27(2015)年度
91	俣野別邸	西洋館	戸塚区	平成 28(2016)年度
92	旧市原重治郎邸	近代和風建築	神奈川区	平成 29(2017)年度
93	中山恒三郎家店蔵及び書院	西洋館	都筑区	
94	井土ヶ谷上町第一町内会館（旧井土ヶ谷見番）	近代和風建築	南区	平成 30(2018)年度
95	吉野橋	土木産業遺構	南区	
96	旧横浜外防波堤北灯台及び南灯台	土木産業遺構	鶴見区・中区	令和元(2019)年度
97	山手 133 番館	西洋館	中区	令和 2 (2020)年度
98	長者橋	土木産業遺構	中区	令和 3 (2021)年度
99	杉沢堰	土木産業遺構	緑区	令和 4 (2022)年度
100	山手 133 番ブラフ積擁壁	土木産業遺構	中区	

	名 称	種 別	所在地	認定時期
101	山手 237 番館	西洋館	中区	令和 5 (2023)年度
102	池谷家住宅主屋	古民家	港北区	
103	山手 69-6 番館	西洋館	中区	
104	山手 267 番館 (Bielous 邸)	西洋館	中区	

横浜市認定解除歴史的建造物一覧表

令和6年3月末現在
3件

	名 称	種 別	所在地	認定時期 認定解除時期
1	横浜松坂屋本館（旧野澤屋横浜松坂屋本館）	近代建築	中区	平成16(2004)年度認定 平成22年3月15日解除
2	日本ビクター第一工場ファサード	近代建築	神奈川区	平成11(1999)年度認定 平成22年12月20日解除
3	旧新井家住宅主屋（八巻家）	古民家	中区	平成12(2000)年度認定 平成30年4月24日解除

横浜市登録歴史的建造物保全契約一覧表

令和6年3月末現在
3件

	名 称	種 別	所在地	契約期間
1	横浜海洋会館	近代建築	中区	令和2年3月31日～ 令和12年3月30日
2	ジャパンエクスプレビル	近代建築	中区	平成26年5月7日～ 平成36年5月6日
3	横浜貿易会館	近代建築	中区	令和元年9月9日～ 令和10年9月8日

横浜市指定特定景観形成歴史的建造物一覧表

令和6年3月末現在
2件

	名 称	種 別	所在地	指定時期
1	旧円通寺客殿（旧木村家住宅主屋）	古民家	金沢区	平成27(2015)年度
2	旧藤本家住宅主屋及び東屋	古民家	鶴見区	平成28(2016)年度

第 17 期 横浜市歴史的景観保全委員

令和 6 年 3 月 31 日現在
(五十音順、敬称略)

	氏 名	現 職 等
1	青木 祐介	横浜開港資料館・横浜都市発展記念館 副館長 有識者
2	阿部 貴弘	日本大学 教授 専門：土木景観
3	内田 青蔵	神奈川大学 教授 専門：日本近代建築史、日本近代住宅史
4	大津 綾乃	有限会社大和興業 専務取締役 歴史的建造物保全活動者（馬車道大津ビル）
5	大野 敏	横浜国立大学大学院 教授 専門：日本建築史、古建築保存修復
6	黒田 泰介	関東学院大学 教授 専門：歴史的都市と建築の保存・再生
7	後藤 治	工学院大学 理事長 専門：歴史的建造物及び町並の保存修復、歴史的建造物保存に関わる制度
8	関 和明	関東学院大学 名誉教授 専門：建築史、西洋館
9	田村 誠邦	株式会社アークブレイン 代表取締役 専門：都市・建築再生マネジメント、ストック活用、事業化プランニング
10	中藤 誠二	関東学院大学 教授 専門：土木工学
11	水沼 淑子	関東学院大学 名誉教授 専門：近代日本住宅史
12	吉田 鋼市	横浜国立大学 名誉教授 専門：建築史、近代建築

※任期 令和 4 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日

歴史を生かしたまちづくりセミナー開催実績

回	開催年月日	テーマ
1	平成元年 3月 18日	港周辺の近代建築
2	平成元年 8月 26日	ウォーターフロントの歴史的資産
3	平成元年 10月 12日	歴史的環境を生かした都市の再生
4	平成2年 3月 31日	絹の道 ～市民ネットワーク
5	平成2年 12月 1日	横浜山手の西洋館
6	平成3年 3月 16日	茅葺き民家とその暮らし
7	平成3年 11月 16日	歴史的資産の保全と活用 -内外事例に学ぶ-
8	平成4年 2月 15日	横浜の洋家具
9	平成4年 5月 16日	歴史的資産の保全と活用 -その制度を考える-
10	平成5年 11月 23日	日本の近代化を支えた横浜の銀行建築
11	平成6年 1月 29日	まちなみを文化に昇華する -歴史的文化遺産を生かしたまちづくりの方法論・英国・横浜-
12	平成7年 2月 25日	都市の記憶を描く！ -歴史的建造物の見方・描き方-
13	平成7年 11月 25日	産業遺産の保存と活用を考えるシンポジウム
14	平成8年 2月 10日	歴史ある民家や洋館に楽しく住まう
15	平成8年 6月 25日	来て・見て・感じて！ -西洋館の移築復元-（外交官の家）
16	平成9年 6月 19日	ようこそ外交官の家へ ～国の重要文化財「旧内田家住宅」見学会～
17	平成10年 3月 7日	横浜の鉄道ものがたり
18	平成10年 7月 18日	都市の記憶を描く -関内・山手歴史的建造物絵画展-（～8月16日）
19	平成11年 12月 4日	緑の中の歴史的建造物を訪ねよう ～横浜南部偏～バスで巡る近代建築・古民家見学ツアー～
20	平成12年 3月 19日	絵画で感じる横浜の歴史
21	平成13年 1月 27日	新春ファミリー・ウォークラリー ～ぶらり訪ねる金澤・称名寺と駅前の歴史的建造物～
22	平成13年 3月 4日	建築探偵、横濱に来る！ ～藤森照信氏が語るハマの歴史的建造物の魅力～
23	平成13年 11月 10日	丘の上の学舎をめぐる～南区の歴史的建造物
24	平成14年 3月 3日	港ヨコハマの知られざる魅力 ～土木遺産偏～
25	平成14年 12月 15日	港ヨコハマの移りかわりと行き交う人々 ～絵から読み解く港ヨコハマ～
26	平成15年 12月 13日	京浜工業地帯と日本自動車産業の成立
27	平成16年 3月 20日	関内周辺てくてくウォッチング ～歴史的建造物の魅力大発見!!～
28	平成16年 9月 18日	横浜・谷戸の住まいと暮らし ～旧奥津家住宅見学と周辺散策～
29	平成18年 3月 11日	様式から見た近代建築 ～関内周辺近代建築散策～
30	平成19年 3月 10日	横浜三塔物語
31	平成20年 3月 8日	アントニン・レーモンド生誕120周年記念 建築家アントニン・レーモンドを知る
32	平成22年 3月 20日	金沢八景と明治の別荘文化 ～旧伊藤博文金沢別邸～
33	平成23年 11月 6日	近代建築の見方、楽しみ方
34	平成24年 12月 8日	日吉の近代建築
35	平成25年 11月 10日	歴史を生かしたまちづくり25周年 記念講演・シンポジウム
36	平成26年 6月 9日	明日の歴史を生かしたまちづくり
37	平成27年 2月 21日	今を生きる古民家の保存と活用
38	平成27年 6月 24日	みんなで支える明日の「歴史を生かしたまちづくり」

回	開催年月日	テーマ
39	平成 28 年 7 月 16 日	石の記憶
40	平成 29 年 9 月 9 日	震災復興橋梁 in 大岡川
41	平成 30 年 7 月 15 日	いぶし銀のまちづくり： ～生活・文化の視点から、まちを再評価する～
42	令和元年 8 月 4 日	野毛山のヒミツ ～どうしてハマっ子の憩いの場になったのか？～
43	令和 2 年 12 月 5 日 令和 2 年 12 月 12 日	旧横浜市庁舎の保全・活用から考える、街のサステナビリティ (第 43 回歴史を生かしたまちづくりセミナー+JIA 神奈川建築フォーラム 連携企画)
-	令和 3 年 10 月～ 令和 4 年 3 月	都市デザイン 50 周年事業の中で以下の講演会を実施 第 1 回「横浜都市デザイン～個性あるまちなみの原点を探る～」 日 程：2021 年 10 月 30 日（土） 第 2 回「身近な地域資源をいかしたまちづくり～水と緑のまちづくり～」 日 程：2021 年 12 月 17 日（金） 第 3 回「みなとみらい 21 のまちづくり～まちの未来を“共有”する～」 日 程：2022 年 3 月 6 日（日） 第 4 回「歴史を生かしたまちづくり～歴史的景観が市民生活を豊かにする～」 日 程：2022 年 3 月 27 日（日）
44	令和 4 年 9 月 18 日	鉄道の記憶を生かした横浜のまちづくり
45	令和 5 年 12 月 9 日	戦後建築はみんなの宝

歴史的景観保全事業 事業費の推移

(千円)

年度	予算		決算	
	事業費	市債＋一般財源	事業費	市債＋一般財源
平成 17 年度	22,000	22,000	35,615	28,019
平成 18 年度	74,000	74,000	41,507	40,707
平成 19 年度	67,500	62,300	68,867	62,617
平成 20 年度	68,000	48,000	94,370	62,370
平成 21 年度	76,300	52,300	76,098	42,098
平成 22 年度	48,900	7,070	45,496	4,078
平成 23 年度	62,550	15,430	61,124	15,414
平成 24 年度	80,820	80,820	80,356	80,356
平成 25 年度	70,595	70,595	39,718	39,718
平成 26 年度	65,080	65,080	77,074	77,074
平成 27 年度	36,950	36,950	36,044	36,044
平成 28 年度	42,045	32,045	33,710	28,019
平成 29 年度	57,110	41,110	38,130	31,735
平成 30 年度	54,999	41,999	50,865	37,865
令和元年度	47,599	42,599	41,110	41,110
令和 2 年度	39,699	35,699	31,201	31,201
令和 3 年度	47,246	47,246	36,232	36,232
令和 4 年度	52,546	52,546	50,582	50,582
令和 5 年度	57,234	57,234	53,028	53,028

ふるさと納税「歴史的景観保全活用事業」 寄附額の推移

年度	企業・団体		個人		計	
	件数	寄附額 (円)	件数	寄附額 (円)	件数	寄附額 (円)
平成 28 年度	1	2,000,000	31	3,658,000	32	5,658,000
平成 29 年度	0	-	45	968,000	45	968,000
平成 30 年度	5	48,100	38	1,265,000	43	1,313,100
令和元年度	1	2,200	28	610,005	29	612,205
令和 2 年度	1	12,500	72	1,903,500	73	1,916,000
令和 3 年度	1	6,720	167	5,836,000	168	5,842,720
令和 4 年度	4	25,552	177	7,741,500	181	7,767,052
令和 5 年度	2	22,000	519	23,250,500	521	23,272,500